

2023年6月14日

各位

株式会社 山口フィナンシャルグループ

## 第62回福岡広告協会賞大賞受賞のお知らせ

山口フィナンシャルグループ（代表取締役社長CEO 椋梨 敬介）は、当社が制作いたしましたWEB映像「ユズの場合篇」「イノリの場合篇」が、九州・山口の優れた広告作品に贈られる福岡広告協会賞において、大賞を受賞いたしましたので下記のとおりお知らせいたします。

当社は2022年11月より、当社パーパス（使命・存在意義）である「地域の豊かな未来を共創する」をステークホルダーの皆さまにより伝わりやすく表現した、ブランドスローガン・ステートメントを用いて、新たなブランドコミュニケーションを開始しており、今回受賞した作品は、その一環として制作したものです。

### 記

#### 1. 福岡広告協会賞について

広告文化の普及向上等を目的に発足した福岡広告協会が主催する広告賞です。

「福岡のみならず、九州・沖縄・山口の優れた広告作品を制作した広告主に対して表彰するものであり、生活者に対して『夢』や『希望』を与える作品に対して与えられ、その作品のコンセプトや制作技術を含め九州広告界の発展に寄与できる作品に対して贈られる賞です。」

（福岡広告協会HP（<https://fukuoka-ad.org/>）より抜粋）

今回、2023年6月8日（木）に表彰式が開催され、当社代表取締役社長CEO椋梨が表彰を受けました。



#### 2. 受賞作品ご紹介

##### （1）受賞作品

当社のパーパス「地域の豊かな未来を共創する」の理念を、より伝わりやすく表現したブランドスローガン「この世界で。この街で。このじぶん。」を軸に、「ユズの場合編」「イノリの場合編」の制作を行いました。

世界中と瞬時につながることができる現代において、「地域」という言葉は未来を限定するものではなく、むしろ無限の可能性が広がっているということ、地域を超えて羽ばたきたいと考えている若者の姿を通じて表現しております。

●福岡広告協会賞 大賞 WEB映像

「ユズの場合篇」 (<https://youtu.be/rHgwtADrAlw>)

「イノリの場合篇」 (<https://youtu.be/uyPq8nzV6aU>)

●TVCMシリーズ部門 銀賞

「ユズの場合篇」 (<https://youtu.be/8nk8ay-B-tc>)

「イノリの場合篇」 (<https://youtu.be/3mOulbtRg1E>)

CM特設サイトにて  
全編放映中



●新聞雑誌部門 銅賞

「ユズの場合篇」

「イノリの場合篇」

**じぶんの物語を  
つまらなく感じたとき。**

地方都市に生まれた。  
じぶんにとっては、真ん中だったね。  
地方と意識したのは  
いくつときからだったのか。  
世界の果てしなさを 知ったとき？  
じぶんの物語を つまらなく感じたとき？  
ああ そんなことは  
誰にもあるよと、人は言う。

それから いろいろありまして。  
いま、地方と世界は 近くなった。  
まもりの問題 ではなくて、  
望めば動けばそうなる 可能性。  
望んで動くことが  
リアルに大事に なってきた。  
地方都市 という 言葉の響きさえも、  
新たな響きへ、 さあどう生きる。



この世界で、  
この都で、  
このじぶん。  
**YMfg**

山口銀行 ちみじ銀行 北九州銀行

**わたしにはわたしの  
陽のあたる場所。**

あなたのその場所、いい場所ですね。  
わたしと 替わって もらえませんか？  
そんなわけには いかないですね。

陽のあたる人生を  
歩きたいと思うけど、  
じぶんが 何者かさえも  
まだ わからなくて、お日様だって  
陽のあてようが ないでしょうか。

だけれども じぶんが 何者かなんて、  
意識まで わからない気がする。  
ただがんばりたいことを、  
がんばりたい。  
それほど何か？ どこでしょう。  
それを獲るのが、  
ここしばらくの わたしの仕事。



この世界で、  
この都で、  
このじぶん。  
**YMfg**

山口銀行 ちみじ銀行 北九州銀行

(2) 審査員コメント

審査員の方からは、以下のようなコメントをいただいております。

<審査委員長・理事長 明治屋産業株式会社 特別相談役 西山 治宏様>

若者ふたりの目を通して、「地方」で生きていくことの意味、そしてそこで何をすべきか、を問いかける作品でした。「地方」でも「都会」でも、今では地方から地続きでつながるこの日本、そして世界に与えられる影響を意識して力強く生きていこうということ。アフターコロナにおいて「地方銀行」が従来の「地方」という概念を超えて、地方から日本、世界へと、その企業活動のフィールドを拡げていく。そんな企業姿勢が若者を通して絶妙なタッチで描かれた作品であります。

<株式会社BBDO J WEST 古屋 彰様>

脚本、演出、演技、映像すべてのレベルが違いました。制作者の技術の高さはもちろんなのですが、なにより印象に残ったのは、広告主の制作者に対する強い信頼を感じたこと。もしかしたら、広告主と制作者の関係構築が一番クリエイティブだったかもしれないと感じました。

以 上

**【本件に関する問い合わせ先】**

山口フィナンシャルグループ 総合企画部 広報・IR室

竹内 070-1202-1690